



# 春



しやき

## 春

---

「どの季節が一番好き？」と、問われた。

「うーん秋かな。」特に、そこに理由はない。

「秋とか何にもないよ？」と、疑問そうな君。

「じゃ、どの季節が好きなの？」と問う。

「えへへ。春。」と、恥ずかしそうに笑って、「お花見行こう？」と、君が言った。

そう。もうそんな季節。

日本は美しい。

「いいね♪行こう。」と、君の手を引いた。

桜を楽しんでなかった私としては嬉しい誘いだ。

桜は満開。出店が沢山列なって賑わい、美味しそうな匂いがあちらこちらでした。

食いしん坊な君は桜よりもそっちに大興奮。

手当たり次第買い食い。

たまに顔に、ソースを付けて振り向く。可愛い。ソースを拭いてあげると、照れる。

そして、最後の一口を「いる？」と聞いてくる。ただ、その時の顔は食べ足りない顔。また可愛いくて仕方ない。

「花より団子だね？」と、言うとき嬉しそうに、「美味しいだもん」とニコニコする。

「これも、いつか食べちゃうかもね」と、桜を指す。

「食べれるかな？」と、ニコニコして桜を見る。

「もしかして...好きな季節の理由はこれ？」

「えへへ。いつか食べてやる。」と、恥ずかしそうに言った。

その時、いつも思う。

どんな綺麗なものよりも、君が一番なんだって。

春も夏も秋も冬も どんな季節も君が匂なんだ。